

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北陸)	良くなる	一般小売店〔精肉〕 (店長)	・消費税率引上げ前の駆け込み需要により、今後2～3か月先までは多忙な状況が続き、全体としては今月より良くなる と予想している。ただし、当該税率の引上げ後の状況につ いては不明である。
		家電量販店(店長)	・来年3月までは消費税率引上げによる駆け込み需要に期待 を持てるが、同年4月以降については当該需要に対する反動 が大きく出ると考えている。上述の件により、今後2～3か 月先の状況は良くなる と予想する。
	やや良くなる	一般小売店〔事務用品〕 (店員)	・消費税率引上げ前の駆け込み需要がピークになることか ら、売上が増加すると想定している。
		一般小売店〔鮮魚〕 (従業員)	・食品表示問題に起因する単価の上昇傾向や売上の増加傾向 は今後も続く と考えている。また、北陸新幹線開業前までは 観光客数の減少が懸念されていたが、当地においては当該客 数は減少していないように感じている。上述の件により、今 後2～3か月先の状況についてはやや良くなる と予想する。 ただし、来年4月の消費税率引上げ後の状況については、上 述の傾向が続くかどうかは不明である。
		百貨店(営業担当)	・今月は前年同月より客の購買量が増加傾向にあり、また、 購買単価についても上昇傾向にあるように感じている。多少 ぜいたくをして良いものを購入するという購買行動が出てき ており、この傾向が本物であれば、先行きは少し明るい と考 えている。上述の件により、今後2～3か月先の状況につ いてはやや良くなる と予想する。
		百貨店(営業担当)	・来年4月からの消費税率引上げに伴い、春物商材を来年3 月までに購入しようという傾向が客に生じると考えている。 上述の件により、今後2～3か月先の状況についてはやや良 くなる と予想する。
		百貨店(一般顧客訪問 担当)	・消費税率引上げ前の駆け込み需要が見込めることから、今 後2～3か月先の状況についてはやや良くなる と考えてい る。ただし、当該税率引上げ後の来年4月以降については、 景気が低迷すると想定している。
		スーパー(総務担当)	・消費税率引上げ前の来年3月末までは駆け込み需要などが 想定され、売上が減少する要因が無いことから、今後2～3 か月先の状況についてはやや良くなる と予想している。た だし、来年4～6月については、当該税率引上げの影響が売上 においても表面化すると想定している。
		家電量販店(店長)	・今月は全体的に客単価が前月より上昇傾向にある。特に、 パソコンについては来年4月に代表的なOSの旧バージョン のサポートが終了することにより、買換え客が増加してきて いる。上述の件により、今後2～3か月先の状況については やや良くなる と考えている。
		乗用車販売店(役員)	・消費税率引上げに伴う駆け込み需要が一層加熱してくると 考えているため、来年3月までは売上は増加する 予想して いる。
		自動車備品販売店(従 業員)	・来年の春商戦については、消費税率引上げ前の買換え需要 や車検関係の前倒しが想定されており、売上の多少の増加を 期待している。
		住関連専門店(店長)	・一時的には、来年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要 により、売上は増加すると想定しているが、当該税率引上げ 後の状況を懸念している。上述の件により、今後2～3か月 先の状況はやや良くなる と予想する。
		通信会社(役員)	・来年度に向けて利用者ニーズを先取りする形で当社商材を 相当りリニューアルする予定であり、また、冬季賞与が増加傾 向にあることより、当該状況を契機とした契約件数の増加を 期待している。
		通信会社(営業担当)	・学生向け割引の開始に伴い販売量の増加は見込めるが、前 年同月比約8割になると想定している。なお、今後2～3か 月先の状況については全体としては今月よりやや良くなる と 予想する。
		通信会社(役員)	・例年加入者が伸びる時期であり、また、12月における契約 の推移状況を考慮すると多少高額コースへの契約数の増加が 想定されることにより、今後2～3か月先の状況については やや良くなる と予想している。
変わらない	商店街(代表者)	・今月は例年どおり客への招待セールを行ったが、購買意欲 が高くないことから、景気回復は実感できない状況下にあ る。上述の件により、全体としては今後2～3か月先の状況 についてはほとんど変わらない と予想する。	

商店街（代表者）	・消費税率引上げ前の駆け込み需要が期待されるところであるが、当該期待感を抱くことができないほど売上が減少してきている。現時点においては上述のような状況にあることから、消費税率引上げ後の状況を大変懸念している。なお、全体としては今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想する。
百貨店（売場主任）	・来年4月の消費税率引上げ前までは、しばらく消費は控えめに推移すると想定している。上述の件により、全体としては今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想する。
スーパー（店長）	・来年4月に消費税率が8%に引上げられることにより、同年3月においては駆け込み需要が見込め、売上が増加する要素はある。しかし、最も近隣にある競合店が他店へ変わることを考えると、今後2～3か月先の状況については、売上はプラスマイナスゼロとなり、業況に変化は無いと想定している。
スーパー（店長）	・11月からの天候不順の影響も一因と考えているが、客の買物動向をみると、必要なものを必要な数だけ購入したり、他の店舗へ買い回りをしたりといった状況下にある。なお、当該状況が変化するとは考えられないことから、今後2～3か月先についても同じ状況が継続すると想定している。
スーパー（総務担当）	・来年4月の消費税率引上げ後は駆け込み需要の反動に伴い売上の減少が予想されるが、当該税率引上げ前の3月までは、売上が増加傾向にあると考えている。なお、全体としては今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想する。
コンビニ（経営者）	・現在の状況が良くも悪くも、今後3か月で急激に変化する要因は見当たらない。上述の件により、売上については低迷気味の状態で推移すると考えている。
衣料品専門店（総括）	・年末商戦の序盤においても売上が今一つ増加していない。なお、衣料品業界においては消費税率引上げ前の駆け込み需要があまり期待できないため、今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予測する。
乗用車販売店（経営者）	・来年3月までは消費税率引上げの影響により駆け込み需要が見込まれるため、今月と同様の傾向が続くと予想する。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・株価の上昇や円安などにより、景気の良い業種が存在すると聞いているが、当業界においては景気の良さを肌で実感することができていない。なお、今後2～3か月先の状況についても当該状況は変わらないと考えている。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・売上については、高額品は増加するが、消耗品については減少傾向に推移すると考えている。なお、今後2～3か月先の状況については全体としてはほとんど変わらないと想定している。
その他専門店〔医薬品〕（総務担当）	・買物動向については、特に食品について顕著であるように値段の安いもの及び買上ポイントを重視しており、複数のドラッグストアを買い回る傾向にある。実際、同一価格であれば、ポイントの高い店で買物をするることにより、生活防衛をしているように見受けられる。全体としては、今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想している。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・消費税率引上げ前後の客の購買動向が不透明であるため、今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想している。
高級レストラン（スタッフ）	・来年の1月及び2月の受注状況については、例年同月より多少減少傾向にある。なお、今後2～3か月先の状況については全体としてはほとんど変わらないと想定している。
一般レストラン（店長）	・来年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要とはほとんど関係が無い業種であることから、全体としては今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想している。ただし、当該税率引上げ後、景気が停滞状態に入ることに懸念を抱いている。
一般レストラン（スタッフ）	・来年4月の消費税率引上げ前に、電化製品や自動車などの駆け込み需要は発生すると思われるが、単価の安い飲食関連業界においては、客の動向にほとんど変化はみられないと想定している。
観光型旅館（経営者）	・2月までは予約が順調に入っており、3月についても消費税率引上げ前の駆け込み予約を想定している。なお、全体としては今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想する。

観光型旅館（スタッフ）	・来年3月までの予約状況については前年同月比102～108%となっており、当該月を上回っているが、間際受け及びオフシーズンによる地元客の確保が大きなポイントと考えている。なお、全体としては今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想している。	
都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況は今一つであり、今月と同様に苦戦を予想している。	
都市型ホテル（スタッフ）	・前回の消費税率引上げ時においては駆け込み需要が無かったことから、今後2～3か月先の状況については全体としてはほとんど変わらないと予想している。なお、当該税率引上げ後における売上の減少が予測できない。	
タクシー運転手	・今月は、忘年会などが集中する金曜日及び土曜日については非常に多忙であったが、日曜日及び平日については大変閑散としていた。なお、今後については、新年会需要などにより上述のような状況が継続された場合、業況に大きな変化は無いと想定している。	
通信会社（職員）	・新規及び解約ともに拮抗状況が続く、現状と特に大きな変化は無く推移すると想定している。	
通信会社（営業担当）	・今月は客からの問い合わせが多少増加傾向にあったことから売上の増加を期待していたが、加入者数及び解約者数ともに3か月前と比べて変動が無かったことにより、景気が良くなる方向性がみえない。	
通信会社（店舗統括）	・売上が大幅に増加する要素は見当たらないことから、全体としては今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想している。	
その他レジャー施設（職員）	・いまだに景気に上向き感が無いが、悪くなった感も無い。全体としては今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想している。	
美容室（経営者）	・消費税率引上げを直前にして、しばらくは消費マインドの向上は見込めないことから、全体としては今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想する。	
住宅販売会社（従業員）	・年末は例年客の動きが少ない時期ではあるが、展示場への来場者数及び問い合わせとも同様の傾向にある。また、他社においては、積極的に広告宣伝をする動きは無く、静観している模様である。なお、今後2～3か月先の状況については全体としてはほとんど変わらないと想定している。	
住宅販売会社（従業員）	・消費税率引上げ前の駆け込み需要の動きが落ち着いているため、しばらくは売上が低迷することが想定される。なお、今後2～3か月先の状況については、全体としてはほとんど変わらないと予想している。	
やや悪くなる	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・来年4月の消費税率の引上げに伴い、売上については一時的に増加するが、その後は買い控えにより購入頻度が減少し、また単価についても低下すると予想している。なお、今後2～3か月先の状況については全体としてはやや悪くなると予想している。
	スーパー（統括）	・来年以降、消費税率引上げに向けた買いためや買い置きが発生することにより、日用雑貨を中心とした単価が一時的に上昇し、買上点数も増加することに伴い、景気が良くなるかと想定しているが、当該状況のしわ寄せが来年4月以降に表面化すると考えている。一方、他の商材の売上については、上述の雑貨を中心とした買い置き可能な商材などに需要が集中するため、減少すると予想している。全体としては、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると想定している。
	コンビニ（経営者）	・常連客の購買動向をみると、これまでよりも値段を重視する傾向がみられる。また、本店のみに存在するものについては本店において購入するが、価格の安いものについては他店において購入する傾向は、今後一層強まると想定している。
	コンビニ（店長）	・年末の前年同月比の売上動向をみると、従来は全体的に約5%割れで推移してきたが、今年の年末については約10%割れに変化してきた。なお、当該要因は、競合店が出店したわけではなく、また、単価は例年とほとんど変わらないことから、純粋に来客数が減少していることに起因していると感じている。今後2～3か月先の状況については、売上が前年同月比約5%程度の割れであれば変わらなく推移すると考えていたが、上述のような状況であることから、やや悪くなると想定する。
	コンビニ（店舗管理）	・近隣に競合他社の出店が複数予定されていることから、今後、売上の減少は回避できない状況にあると想定している。
	衣料品専門店（経営者）	・今後、衣料品の駆け込み需要は期待できず、むしろ消費税率引上げが足かせとなることから、大変悲観的に考えている。

		衣料品専門店（経営者）	・前年から今年にかけて北陸新幹線開業特需を実感し、今後も期待する声が多く聞かれるが、来年4月の消費税率引上げに向けて売上は減少すると想定している。なお、当地においては、景気回復は関係が無いと考えている。
		乗用車販売店（従業員）	・天候が悪い日が続いた場合、来客数が減少し、売上にかなり影響すると考えている。上述の件により、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると予想する。
		スナック（経営者）	・来年4月の消費税率の引上げなどにより、客の気持ちが悪く、消費が抑制されることを懸念している。上述の件により、今後2～3か月先の状況についてはあまり期待が持たず、やや悪くなると予想している。
		旅行代理店（従業員）	・来年の団体客に関する案件照会が発生していない。また、同年の個人客の状況については、今年の伊勢神宮や出雲大社の遷宮、建て替え完了後の歌舞伎座の開館及び東京スカイツリー開業1周年などのように、話題となる新しいスポットや来年4月の消費税率引上げを打破するようなイベントの開催予定が無い。上述の件により、来年の旅行業界は、一層厳しい状況になると想定している。
		旅行代理店（従業員）	・消費税率引上げやETC割引率の低下などが予定されていることに伴い、当該業界に手控え感がある。上述の件により、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると予想している。
		テーマパーク（職員）	・今後3か月間の予約状況については、海外客はまだ正確な状況は把握できないが引き続き好調に推移すると想定され、一方、国内の団体客については前年同月と比べ大幅に減少傾向にある。上述の件により、当該期間においては今月よりやや悪い状況に推移すると予測している。
		競輪場（職員）	・今後2～3か月先の状況については、年末のグランプリレース及び年初のグレードレースの開催をピークに、売上が減少していくと想定している。
		住宅販売会社（経営者）	・今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると予想している。なお、消費税率引上げ後の受注の落ち込みを懸念している。
	悪くなる	タクシー運転手	・今月は活気があって多忙となったが、2～3か月後は節約志向に戻って悪くなると予想している。
		住宅販売会社（従業員）	・受注件数の減少もさることながら、円安による資材の高騰に加え、内地材も値上がりしており、しばらくは完工で忙しくなるものの、収益面で足を引っ張ることになる。
		住宅販売会社（従業員）	・現行の消費税率が適用される請負工事契約の締結時期の影響に伴う駆け込み受注が9月末で終了したことに伴う影響が続くことから、今後2～3か月先の状況については悪くなると予想する。
企業動向関連 (北陸)	良くなる	一般機械器具製造業（総務担当）	・国内においては、「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」などの効果により受注量が増加している。また、欧米からの受注量についても増加傾向にある。上述の件により、今後2～3か月先の状況については良くなると予想する。
	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・消費税率引上げの影響が懸念されるが、円安による輸出関連の動きや景気回復による国内商材の受注量の増加が期待できることから、今後2～3か月先の状況についてはやや良くなると予想する。
		繊維工業（経営者）	・円安による受注の国内回帰と輸出額の増加に期待していることから、今後2～3か月先の状況についてはやや良くなると考えている。
		化学工業（総務担当）	・今後の受注状況については増加が見込まれることから、増産を予定している。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・消費税率引上げの影響により住宅需要がかなり増加してきており、来年2～3月においては今よりも高い水準になると想定している。
		精密機械器具製造業（経営者）	・複数の新製品の受注の増加が重なっているため、年明け後は数量ベースで今月より20～30%の増産を計画している。
		建設業（総務担当）	・過度な受注価格競争は緩和傾向にあるが、技能工の不足により、外注費の上昇及び工期面における影響が一層深刻化すると予想している。なお、今後2～3か月先の状況については全体としてはやや良くなると想定している。
		輸送業（配車担当）	・円安によるコスト負担が利益を圧迫していることについては問題と認識しているが、来年4月からの消費税率引上げの影響に伴う受注の前倒しにより、今後2～3か月先の状況については、今月より物量の動きは活発になると想定している。また、同様の状況は、同年の5～6月ごろまでは続くと考えている。

	通信業（営業担当）	・取引先の状況から製造業及び建設業を中心に繁忙期を迎えていることにより、人と金が動いていくと予想している。	
	金融業（融資担当）	・来年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要が増加すると想定されることにより、今後2～3か月先の景気についてはやや良くなると考えている。	
	金融業（融資担当）	・個人消費が力強くなれば、今月よりも更にムードが良くなると考えている。なお、北陸新幹線開業を見据えて投資活動も活発になってきていることから、今後2～3か月先の状況はやや良くなると予想している。	
変わらない	食料品製造業（役員）	・全般的には需要の増加傾向がみられるが、高額品など頭打ちになっているものも散見されることから、特別な施策を出さない限り、これ以上の需要の増加は難しいと考えている。全体としては今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想する。	
	金属製品製造業（経営者）	・今後2～3か月先の受注状況により、業況に変化は無いと想定している。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・円安傾向が持続されることから、海外向け受注量及び消費動向に大きな変動は無いと考えている。	
	建設業（経営者）	・民間工事の受注がほとんど無く、正月明けは社員に代休の消化や有給休暇を取得させることを考えている。公共工事についても、12月の議会で決定した補正予算はあまり大きくは無く期待できないため、例年のように除雪作業が主な業務になると想定している。全体としては今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想している。	
やや悪くなる	不動産業（経営者）	・個人からの問い合わせが減少傾向にあり、また、今後法人関係者より期待できる話が出てくる様子も無いことから、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると予想している。	
	司法書士	・今月の住宅の新築などは消費税率引上げ前の駆け込み需要であることから、来年以降は反動により需要は減少すると想定している。	
	税理士（所長）	・来年4月の消費税率引上げ前の需要の先取りも想定されるが、日本の企業家や消費者が正しく情報を理解することにより景気は悪化しないと考えている。なお、円安に伴う輸入価格の上昇については懸念している。本来は円安により輸出が容易な状況となり、円建て価格は上昇しやすい傾向にあることから、当該状況に伴う利潤が中小企業にも回ってくることから、同企業においても給与の上昇がしやすくなり、良い循環が期待できると考えている。ただし、消費税率が3%から5%へ引上げられた時のような購入の抑制の事態が起きることを懸念しており、今後2～3か月先の状況については、全体としてはやや悪くなると想定している。	
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・製造業における新規求人数が増加傾向にあることから、雇用情勢の改善が予想される。
(北陸)	変わらない	民間職業紹介機関（経営者）	・消費税率引上げ前の駆け込み消費が次第に増加すると考えていることから、一時的ではあるが雇用についても活発化すると想定している。
		人材派遣会社（役員）	・景気の回復傾向がみられないため、今後の需要動向については少ない状況にあることから、今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想する。
	人材派遣会社（社員）	・様々な職種において人材の不足感が強まっており、しばらくは厳しい状況が続くと想定している。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	・正社員の募集が増加するような企業の進出などが見込めないことから、今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想する。	
	新聞社〔求人広告〕（役員）	・消費税率引上げによる動向に注視しているが、今後2～3か月先の状況については全体としてはほとんど変わらないと想定している。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人数の増加は鈍っているが比較的高いレベルで安定した状況にあることから、今後の増加状況については不透明であると認識している。上述の件により、今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想する。	
	職業安定所（職員）	・求人数の増加に関しては良い傾向と考えているが、求職者の動きが緩慢であることを懸念している。なお、最近数か月は新規求職者数及び有効求職者数も減少傾向にある。当該影響であるかは不明であるが、就職件数があまり増加していない。今後2～3か月先の状況については全体としてはほとんど変わらないと想定している。	

	職業安定所（職員）	・求人数は多少減少傾向にあるが、求職者数も同様の傾向にあることから、求人倍率としては横ばいに推移すると想定している。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-